

Kousa ノ 辯

Okousa ノ 辯

澤 田 武 太 郎

某日理學博士中井猛之進教授カラ「テーマ」ヲ頂イタ其レハお前ハ暇人ダカラやまばうしノ學名 (Cornus Kousa BUEBG.) ノ種名デアル Kousa ノ語原ヲ調べテ見ロト云フノデアッタ元來博言學的教養ハ勿論語原攻究法ナドハ經濟學科在學中學習シナカッタノデ不尠驚イタガ其處デ思ヒ出シタノハ余ノ閑居シテ居ル箱根デハみづき (Cornus controversa HEMSL.) ノコトヲみづき (Midsou-kousa) ト云フ方言デ呼ンデ居ルコトデアルみづきヲくち (kousa) ト呼ブ例ハ箱根ニ限ラズ他ニモアルモノト見エ牧野先生ノ蒐メラレタ本邦植物方言ノ中ニモアッタ様ニ記憶スルガ勿論 J. HOFFMANN ET H. SCHULTES ノ著 Noms indigènes d'un choix de Plantes du Japon et de la Chine, (1853) (Extrait No. 10 de l'année 1852 du Journal Asiatique) ノ一〇二頁ニアル Kousa, herbe (草ノ意) トハ無關係デアル從ツテ Kousa ノ意味ハ全ク判ラズ五里霧中ノ感ガナイデモナイガ恐ラクコレハ將來ニ於ケル豫想スベカラザル偶然ノ發見ノ外必然的ニハ百年ノ齡ヲ幾度重ネテモ判然スベキ見込ガタヽナイ依テ其點ハ余以上ノ小春人ニ委ネテ置クコト、シテ此語ガやまばうしノ學名ニ採用サレルニ至ッタ徑路ニツキ次ノ様ニ考ヘテ見ルコトニスル

西洋人崇拜宗ノ世界的天才デアル我が同胞ガ非常ニ尊敬スル PHILIPP FRANZ VON SIEBOLD ノ最初ノ來朝ノ時彼ノ萬有科學的事實蒐集ノ助手ノ一人ニ HEINRICH BUEBERG ト云フ人ガ居リ此人ハ地球物理學的學問ニ造詣深カッタサウダガマタ緒鞭ノ學ニモ相當通ジテ居テ長崎ニ於テカ或ハ SIEBOLD ニ附シテ江戸表ニ參向ノ砌リ通過シタ途上ノ地方ニ於テ聞知シテカ兎モ角 Kousa ト響ク音響ガ或樹ノ名デアルコトヲウロ覺エニ覺エテ第三者ニハ不明ノ理由デ遂ニ之ヲやまばうしニ適用シ其標本ニ次ノ様ナ手記ヲ遺スニ至ッタ即チ Cornus Kousa



やまばうし (Cornus Kousa Buerg.) (木村康一君撮影)

HOFFMANN ET SCHULTES ノ目錄ニハ *Benthania japonica* S. ET Z.
Fama boou si ノ名ヲ出テ居ル

herb, Buerg. ex Miquel in *Annales Musei Botanici Lugduno-Batavi*, Tom. II. Fasciculus VI. p. 159, pro synonymo (1866) デアル、之ニ依リ私人ノ獨斷シカモ日本名ノ文獻的涉獵ヲ勝手ニ省略シタ獨斷ヲ下セバ右ノ言説丈デやまばうしノ學名 (specific epithet) トシテ Kousa ガ採用サレルニ至ツタ徑路ヲ想像シ得ルコトガ出來ル様ニ思ハレルト同時ニ其起原探究ノ道程ニ多少ノ光明ヲ發見シタ様ニモ思ハレル

尙此ノ問題ヲ正式ニ解釋スルニハドウシテモ東海道筋山陽筋九州等即チシボルド一行ノ往來シタ諸州ニ於テ古今ヲ通ジテやまばうしヲ呼ブノニ Kousa 又ハ之ニ類似ノ方言ヲ有スルカドウカト云フコトヲ詮索スルコトデアル若シ幸ニ同好ノ好意ニヨリ其様ナ方言ノ存在ヲ確ムルヲ得バ此ノ件ハ BUERGER ノ錯覺ニ俟タズシテ釋然氷解スルコトガ出來ルノデアルカラ諸州ノ君子ニ於テモ此點ニ注意ヲ喚起セラレンコトヲ望ム次第デアル

尙 Midsonkousa = Kousa デアルカ或ハ Midson-kousa ハ Midson-kousa ナラヌ別ノ kousa ヲ豫想シテノ名稱デアルカコノ邊モ同好各位ノ將來ノ好意ニヨリ判明スルコト、信ズル

終リニ此問題ヲ提供シ下サレシ中井教授ノ御厚意ニ對シ謝意ヲ表シ御厚意ニ報ユル爲メ急ギ草シタコノ一文

とりどりノ事實(あまもトひめがまノ花穗)

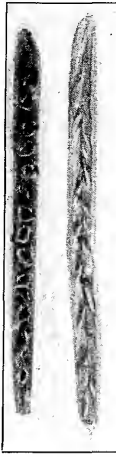
ガ甚ダ粗末ナルヲ耻入ル次第デアル

序ニ云フガ近年我が日本ノ帝都及ビ關門デアル横濱デハ米國ノやまばうし(Cornus Florida L. あめりかやまばうし總覽)ヲ無暗ニ移植シタトカ聞イタガ吾々箱根山ノ住人カラ見レバ實ニ御苦勞千萬ナコト、シカ言ヘヌ日本ニハ殆ンド全土ヲ通ジテ本邦固有ノやまばうしガアリ觀賞の見地カラ見タラ兩者ニ大シタ徑底ハナイデハナイカ米國物ハ苞片紅色ノガアルト云フガ日本ノモノデモ自生スル多クノ品種カラ考ヘテモ園藝的ニ取扱ヘバ色々ナモノガ現レル筈デアル何レコンナ餘計ナコトヲスル者ハ日本本來ノやまばうしノ花ヤ赤果ヤ其紅葉ヲ見タコトノナイ連中デアルニ相違ナイ、コンナ連中ハ一日箱根ニデモ來テ其美觀ト盛觀トニ接シ我が C. Kousa Buerg. 一 C. Florida L. ヲラ較シテ見ルガヨイ

○とりどりノ事實あまもトひめがまノ花穗

久 内 清 孝

あまも (Zostera) 屬ノ植物デ普通ニ日本デ知ラレテ居ルノハ先ヅ三種デアルコトハ民間ニ行ハル、殆ンド凡テノ書ガあまも (Z. marina L.) こあまも (Z. japonica Aschers. Et Graebn.) おほあまも (Z. pacifica S. Wats.)



あまもノ一種
(Zostera sp.)
ノ花穗
(久内清孝)

丈シカ列記シテ居ナイノデ判ルケレ共マダ日本近海ニ産スルあまも屬中ニハ他ノ種類モアツテ専門學者文ニノミ知ラレテ象牙ノ塔ノ外ノモノニハ一向知ラレテ居ナイモノモアルノデハナイカト思ハレル其證據ニハ私ノ様ナ素人デモ前記三種以外ノモノデ頗ルあまもト似テ居テ非ナルモノヲ知ツテ居ルノデアル其レハ柱頭ノ殘存部ノ先端ガ決シテ二分シナイ種類デアル洋書デあまも (Z. marina L.) ノ圖ヲ見ルト柱頭ガ二裂シテ居ルガ私ガ此處ニ述ベテ居ルモノハ